

# 能登半島地震現地視察

調査期間 2024.4.14～16.

## 調査行程

4月14日 横浜発(07:00)～中央・上信越・北陸自動車道～金沢着(14:30), ① 内灘町の液状化被害視察, ② 金沢市田上新町の造成地崩壊現場視察, 金沢泊

4月15日 能登道路, 柳田ICより249号線を北上

③ 志賀町役場および周辺, ④ 天領黒島漁港・鹿磯漁港にて地盤の隆起状況と木造建築の被害状況視察, ⑤ 総持寺とその周辺の門前地区の被害状況視察, 輪島市街地への途中で249号線中屋トンネル不通のため迂回路利用, ⑥ 輪島市の中心市街地視察 (注目は朝市通りの広域火災とRC転倒ビル), ⑦ 白米千枚田・深見地区視察, 249号線が白米千枚田の先で普通のため輪島へ戻り内陸の道を珠洲へ向かう, ⑧ 珠洲市役所とその周辺市街地の視察, その後珠洲宝立地区の津波被害状況の視察, 最期に見附島に立ち寄り, 能登町・能登空港・穴水町経由, 能登道路を経由して金沢へ帰着, 金沢泊

4月16日 ⑨ 金沢城の石垣崩壊現場視察, 金沢発(10:00)～北陸・東海北陸・名神・東名高速自動車道～横浜着(18:00)



使用地図 石川県 1/200,000 昭文社刊

# 内灘地区

砂丘内側の緩い砂地盤の液状化と側方流動による被害  
砂丘の上には能登道路と白帆台の新しい住宅街が…



带状に分布する内灘町の集落は一樣に緩い砂地盤の液状化と側方流動によって砂丘と反対方向に押し流されている



八幡宮は鳥居も参道もガタガタ



公民館裏の児童公園は指定避難場所になっているが



不同沈下を生じた立正佼成会ビル



西荒屋小学校前の県道(左側は砂丘, 右側は河北潟の干拓地)



写真の道路被害は確認できなかった(バス停は小学校前)

# 金沢市田上新町

造成地の上に開発された新興住宅地に発生した斜面崩壊



国土地理院による地形図



地震直後の被災状況(左の写真は北國新聞, 右の写真は国際航業㈱によって撮影されたもの)



伸縮計に異常があれば近隣に警報が発せられる



国土地理院による航空写真



崩壊斜面上の被災住宅はさすがに片付けられていたが, 造成地は現状に復元されることなく, 道路も通行禁止になっている

斜面崩壊が一か所のみで発生した理由は何か. 一つの解釈として, 造成地の法面が道路の湾曲に沿って凸状に膨らむことによる地形効果の影響は考えられないだろうか



簡易伸縮計を用いた造成地の監視がおこなわれている

# 志賀町役場とその周辺

志賀原発の町との印象であるが、道路復旧がひと段落して町は  
平静を保っているように見受けられる 町役場では親切に対応し  
ていただき、広報誌によって被災者への行政対応の時系列を把握できた



志賀町が発行している広報誌の表紙



町役場の被災状況



志賀町中心部と志賀原発とを隔てる丘陵部に生じた斜面崩壊



ほとんど無被害の志賀小学校校舎



町役場の被災者支援窓口に来る人々



環境放射線監視パネル



飲料水の無料配布



『天領黒島町並み散策マップ』によって町並みと港の外観を知ることができる

# 黒島漁港

幕府直轄の北前船の漁港として知られ 廻船問屋の住宅は重要文化財に指定されている 地震による隆起で港の内部は砂に埋もれている



黒島漁港南側の隆起海岸



黒島漁港内部も隆起のため砂に覆われている



黒島の集落には地震で倒壊した住家が至る所に見られる



神戸からの応援ポスター

# 鹿磯漁港 4mもの隆起で一躍有名に!



国土地理院による地形図



北國新聞社の特別報道写真集より



港内に転覆船が見える



国土地理院による航空写真



鹿磯漁港の岸壁



鹿磯漁港東側の海岸(沖合の消波ブロックまで陸地が続く)

# 輪島門前

文字通り 総持寺の門前町  
2007年の地震でも大被害



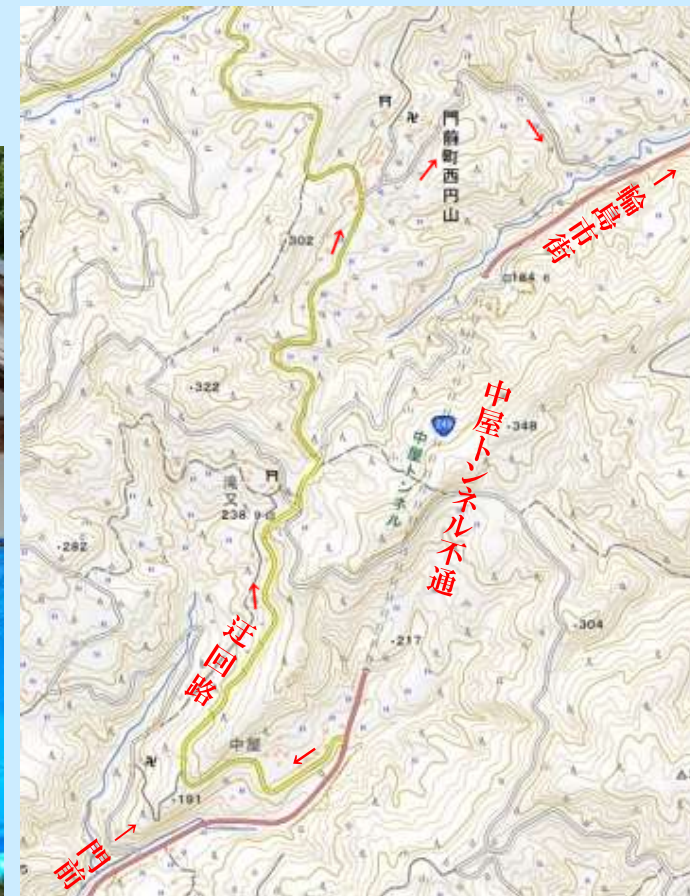
総持寺山門



木造住家の被災状況



復興支援のノボリ



門前～輪島間の中屋トンネル周辺の地形図



総持寺境内の被害状況



門前近郊の木造住家の被害



至る所に見られる迂回路途上の斜面崩壊



迂回路途上で見かけた脇道の被害状況

# 輪島市街 朝市通りの広域火災



国土地理院による地形図



地震火災で焼失した輪島朝市通りとその周辺地域



河原田川にかかるいろは橋まで火災は広がる



## 五島屋ビル倒壊



ビルの被害は新潟地震(1964)のような地盤の液状化による転倒と思っていたが基礎梁の折損など抵抗の跡が見られる。RC柱がスチールで覆われ破損状況が確認できない



蓮江寺の墓石は壊滅状態



焼失を逃れた輪島市街の木造住宅には多くの全壊家屋が散見される





# 白米千枚田

輪島市街から白米千枚田までは到達できたが曾々木・広江へ通り抜けることはできなかった



## 白米千枚田年表

- 1638年 板屋兵四郎により水路が整備される
- 1956年 輪島市文化財指定名勝
- 1990年 千枚田ポケットパーク整備
- 1991年 日本米づくり百選
- 1994年 手づくり観光地百選
- 1996年 水の郷100選
- 1999年 全国樹田100選
- 2000年 石川県指定文化財名勝
- 2001年 国指定文化財名勝
- 2007年 千枚田オーナー制度開始
- 2011年 能登の里山里海が世界農業遺産に認定
- 2013年 千枚田ポケットパークリニューアル
- 2014年 日本農業の聖地として登録



観光客もなく千枚田ポケットパークの店舗は閉鎖状態 しかしそこからの景観は実に見事であった。海岸線を走る国道249号線は千枚田から先が通行止めのため輪島市街に戻り珠洲へ向かった。



輪島市街へ戻る途中の深見地区でインスタントハウスを見かける 深見小学校お廃校跡地は公民館・高齢者施設・リサイクルセンターとして利用されており、近くでは水道管の応急敷設中であった

# 珠洲

災害広報 第1号  
2024年1月19日発行

【発行】  
〒927-1295  
石川県珠洲市上戸町北方1字6番地2  
珠洲市役所広報委員会 ☎0768(8)2222  
ウェブサイト <https://www.city.suzu.lg.jp/>

市長メッセージ

令和6年の元日を襲った大地震は、珠洲市に未曾有の大災害をもたらしました。被災直後は人命を最優先し、全国の自衛隊・消防・警察関係の多くの皆様にご救命・救助活動にご尽力いただきました。残念ながら尊い命を失われました皆様には心から哀悼の意を表しますとともに、被災されました皆様にお見舞いを申し上げます。また、各地区自主防災組織の皆様には、避難所の運営や、地域の皆様への物資の供給にご尽力いただいておりますし、各関係省庁や全国の自治体から多くの職員の皆様が応援に駆けつけていただいております。ご支援・ご尽力をいただいております皆様に、改めて心より感謝申し上げます。

私といたしましては、市民の皆様を守るために、石川県と連携し、配慮を要する方の1.5次避難を進めるとともに、金沢方面への一時的な2次避難を促したいと考えております。

いずれにいたしましても、まずは、断水の解消や応急仮設住宅の建設について、今後の見直しを早急にお示しできるよう全力で取り組んでまいります。

令和6年1月19日 珠洲市長 泉谷 潤寿治

# 珠洲

災害広報 第7号  
2024年4月5日発行

【発行】  
〒927-1295  
石川県珠洲市上戸町北方1字6番地2  
珠洲市役所広報委員会 ☎0768(8)2222  
ウェブサイト <https://www.city.suzu.lg.jp/>

ホームページの更新はLINEで受信

## 令和6年能登半島地震 石川県・珠洲市 義援金の配分

令和6年能登半島地震で被災された方に対して、多くの義援金が寄せられています。既に石川県に寄せられた義援金の第1次配分が行われていますが、この度、**石川県の第2次配分と珠洲市の義援金配分**が決定しました。

被災区分	石川県		今回追加部分	合計	申請手続き	
	第1次配分	第2次配分	珠洲市			
人的	死者	20万円	80万円	20万円	120万円	災害弔慰金の対象者や石川県義援金(第1次配分)を申請した方は <b>申請不要</b>
	重傷者	10万円	-	10万円	20万円	
住家	全壊	20万円	80万円	50万円	150万円	被災者生活再建支援金を申請した世帯は <b>申請不要</b>
	大規模半壊	15万円	60万円	35万円	110万円	
	中規模半壊	10万円	40万円	25万円	75万円	石川県義援金(第1次配分)を申請した世帯は <b>申請不要</b>
	半壊	5万円	20万円	10万円	35万円	
	準半壊	-	10万円	5万円	15万円	
一部損壊	-	3万円	3万円	6万円	<b>申請が必要</b>	
6市町全住民	5万円	-	-	5万円	オンライン・郵送・窓口	

■申請が必要な方・世帯 [4月8日(月)から受付開始] ■申請が不要な方・世帯  
 [申請場所] 被災者支援総合窓口(市役所1階) 8時30分~18時30分 既に申請した手続きの振込  
 [必要なもの] 被災証明書、世帯主の通帳、本人確認書類 口座へ追加金を振り込みます。

珠洲市の災害広報には市民向けの災害支援情報が掲載される

# 珠洲飯田地区

2022年6月19日の能登半島地震は能登半島先端が震源で珠洲市の被害は甚大であった



春日神社の鳥居は2022年の地震でも破壊された



珠洲市役所周辺の木造住家の被害



倒壊した家屋の奥に珠洲市役所が見える



飯田小学校に駐留する自衛隊の災害救援隊



飯田町西勝寺の被害状況



上戸町神社の被害状況

# 珠洲市宝立地区

津波災害が最も激しかった地区であるが3カ月半が経過して痕跡は不鮮明



地震で全壊した木造住家



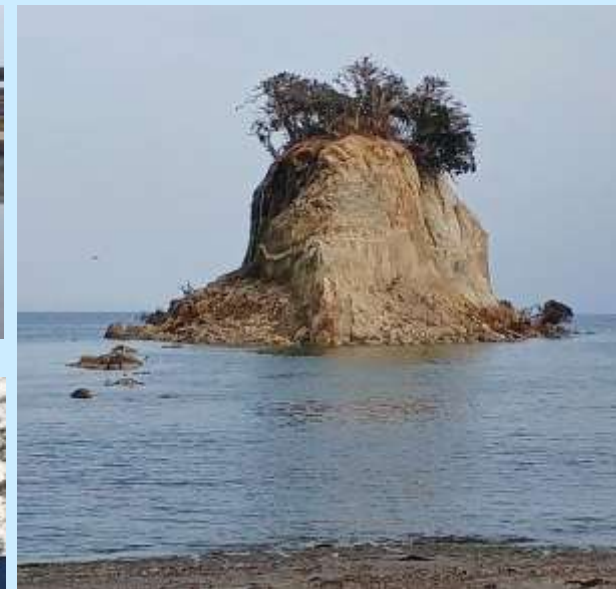
道路啓開のため被災住宅の破壊状態は判然としない



津波襲来の痕跡をわずかに残す宝立町鶴飼地区



鶴飼川の最も海側の橋(鶴飼漁港に向かう)も通行止め



見附島(軍艦島)と崩壊土砂  
2022年の地震でも一部崩壊が見られたが今回の地震ではさらに島の側面が細くなったと言われている。この地点には車でやって来る観光客が散見される



宝立町鶴飼橋の破壊によって県道は通行止めに



見附公園に駐留する移動住宅と作業車

能登半島地震による石垣被災に伴う立入規制のお知らせ

■金沢城公園 平面図（現在の立入規制箇所と主な被災石垣の状況）  
※安全が確認された箇所から開園エリアを拡大していきます

■概要

能登半島地震により、金沢城公園内の石垣の一部に崩れや前倒れなどの被災が発生しました。来園者の皆様の安全のため、変状のあった石垣付近の立入りを規制するよう、開園エリアを制限しています。ご理解願います。



案内板によれば金沢城内の数か所で石垣が地震で崩れる被害が出ている。観光客の合間を縫ってその幾つかを確認することができた

# 金沢城

 地震による石垣の被害は如何に

旧陸軍のレンガ造りのトンネル脇の石垣崩壊現場



色紙短冊積石垣（前倒れ被害あり）



五十間長屋の見事な石垣



裏手から見た色紙短冊積石垣の被害



鼠多門近くの石垣崩壊



観光客で溢れる兼六園入口

# 能登半島地震現地視察のまとめ

今回の現地視察に際しては視察のタイミングを見定める必要があった。あまり早期に訪問すると道路事情が悪いであろうし、何よりも被災された地元の行政機関や被災者の方々のご迷惑になりそうで決断を躊躇した。逆に訪問のタイミングを失うと、被災現場が地震直後の状況と異なり、訪問する意味がなくなることを恐れた。その間、新聞やTVの報道に注目しつつ、地震から3ヵ月半が経過した4月14日から16日にかけて視察旅行を実施した。車での往復にかなりの時間を要したので、能登半島の訪問は実質1日のみの強行軍であった。被災現場を見せて頂いた上での今回の地震災害の印象は凡そ以下のごとくであった。

- \* なによりも、これまでの他の地震災害と比べ、全般的に復旧・復興のスピードが鈍いとの印象が大きかった。能登半島の全壊住家は殆ど放置されたままであり、被災者の姿を見かけることも稀であった。満開の桜は実に見事で、金沢市内に観光客が満ち溢れていたこととの落差の大きさに愕然とさせられた。
- \* 能登半島における地震被害の要因には、強震動による建築物の破壊と山腹斜面の崩壊、半島西部の海岸に顕著な地盤の隆起、輪島市街における広域火災、珠洲市に顕著な津波災害などが指摘できる。
- \* 輪島市河井町における7階建RC建築の倒壊の主たる原因は、地盤の液状化による支持力喪失にあると考えられる。杭の影響については調査結果を待つほかないが、基礎梁には建物転倒時に抵抗した痕跡が認められる。構造体である各階のRC柱はスチールで覆われているため亀裂の有無が確認できなかった。最上階のRC柱は下向きの慣性力による亀裂が認められ、転倒速度の判定に有用かも知れない。
- \* 内灘町西荒屋・室地区の液状化被害の大きさは想像以上であった。かつて内灘砂丘が米軍の射爆場になりかけたとの話(五木寛之著『内灘夫人』)で無人地帯を想像していたが、専用道路や住宅団地が砂丘上に開発されていることにも驚かされた。やはり現地を見ないと災害環境は理解できないことを痛感した。
- \* 金沢市田上新町の宅造地崩壊は、被災者には誠に気の毒であるが人為的な災害としか言いようがない。一つの解釈として、造成地の法面が凸状に膨らんでいることによる地形効果の影響も考えられる。



イヌナズナ



ウバユリ



オドリコソウ



ヤブニンジン



タンポポ



ニワトコ

# 路上で出会った植物たち



シラユキゲシ



ツルニチニチソウ



ヒメキンギョソウ



ソテツ



ヤブツバキ



輪島深見のサクラ並木